

# ブラジル金融政策（2019年10月）

## 0.5%ポイントの利下げ

2019年10月31日

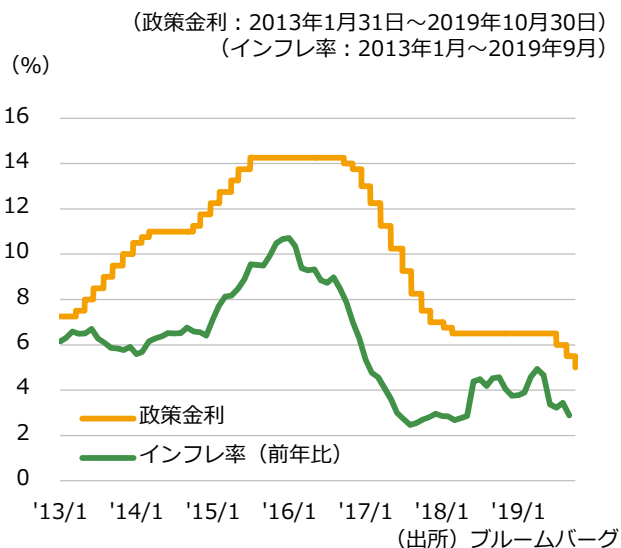
### 3会合連続となる利下げを実施、追加利下げも示唆

ブラジル中央銀行は10月30日（現地、以下同様）、政策金利を5.50%から5.00%に引き下げました。市場予想通りの利下げ幅となりました。声明文では、経済は緩やかな回復を続けていると述べられていますが、引き続き景気刺激のための利下げが実施されました。足元のインフレ率は中央銀行のインフレーターゲットの下限（2.75%）を下回っており、今回中央銀行は2019年と2020年のインフレ率予想を引き下げました。また、主要国が追加の金融緩和策を実施しており、新興国にとって利下げを実施しやすい環境になっていることも、ブラジル中央銀行による利下げの決定を後押しした模様です。今後の金融政策については、インフレ率の低下を背景に同程度の追加調整も許容されるとして、追加緩和が示唆されました。

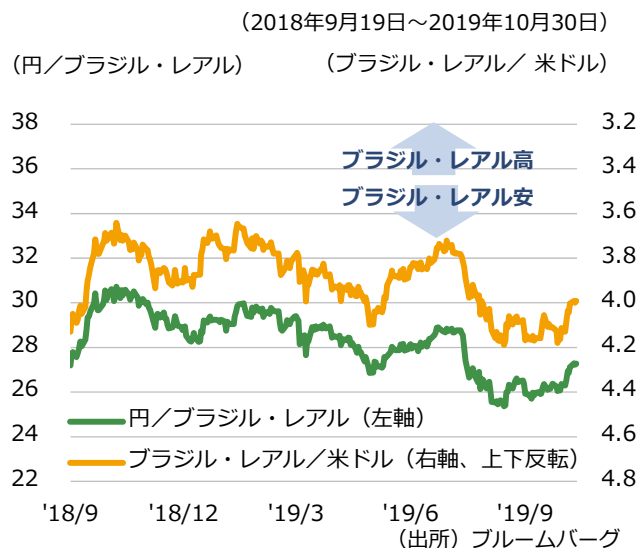
ブラジルでは、10月22日に上院で財政健全化のための年金改革法案が可決されました。市場の注目は、次に発表される財政改革法案に移るとみられますが、引き続きブラジルの財政健全化への進展期待がブラジル資産への追い風となりそうです。

米国では、FRB（米国連邦準備制度理事会）が同日に0.25%ポイントの利下げを実施しているなど、世界的に各国の中央銀行が緩和的な政策をとっています。こうした外部環境を背景に、相対的に金利の高い新興国市場への資金流入が期待され、ブラジル・レアルの上昇を後押しすると考えています。

#### 政策金利とインフレ率の推移



#### 為替の推移



#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。